



令和4年度
第16号
2022. 6. 21

六郷

～元気に輝いて～

子どもたちの経験を深める，外部講師から教わる体験活動④

【4年『水の森』植樹事業への参加】（講師：仙北東森林組合職員の方々）

15日に行われた町の事業（2022七滝「水の森」植樹事業）には、町内の4年生が参加しました。この事業は、13年前から行われていましたが、昨年・一昨年はコロナ感染防止のため中止となっており、今年、3年ぶりの実施となりました。

実際の植樹は、7～8年前に植樹した場所の隣の斜面に行いました。慣れない山で、しかも、きつい斜面での植樹作業はたいへんでしたが、社会科で「水はどこから」という勉強をしている4年生の子どもたちにとって、水源の森である七滝山に実際に植樹できたことは、とてもよい経験になりました。子どもたちが植樹した1mほどのブナの苗木も、厳しい環境に打ち勝って成長し、7～8年もすると3mから5mになるそうです。子どもたちもブナの苗木のように、たくましく自分を成長させてほしいものです。



課題解決に向けて一生懸命な姿が見られました！～4年竹組社会科～

17日には、4年竹組で社会科の研究授業が行われました。六郷では、多くの家庭が飲料水に地下水を利用しており、水道水を利用している他の市町村とは大きく異なっています。しかも、その飲料水が、環境省の「名水百選」に選ばれている六郷の湧水群と同じ水源なわけですから、子どもたちの飲料水の環境は、非常に恵まれていると言えます。その恵まれた飲料水の環境を将来も維持していくためにはどうすればよいか、4竹の子どもたちは一生懸命に意見を出し合いました。その考えのもととなっているのが、これまでの学習です。担任の伊藤先生と一緒に考えたり調べたりしたこと、ゲストティチャーで来てくださった町の建設課や観光情報センターの方々から教えてもらったことを最大限に活用して課題を解決しようとする姿勢が見られました。ふるさと六郷の将来を真剣に考える子どもたちの姿が、とても印象的でした。

